

～カンボジア・ミャンマーの子どもたちに安全な水を～
「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」を通じ
2,666万9,186円を贈呈します

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、12月8日（金）に在日本国カンボジア王国大使館、ならびに駐日ミャンマー連邦共和国大使館において、「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」を通じた募金、および当財団からの拠出金の合計2,666万9,186円を公益財団法人日本ユニセフ協会へ贈呈します。

本年度は10月1日（日）～10月31日（火）の期間、イオングループ各社の協力により全国約6,400カ所において募金受付を実施し、お客さまからお寄せいただいた募金は1,287万9,673円にのびりました。当財団は、この募金と同額のマッチング拠出に、イオンのブランド「トップバリュ」の「ナチュラルミネラルウォーター」（500ml）の期間中売上に対する拠出金を合わせ、贈呈します。

募金および寄付は、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じ、カンボジアとミャンマーにおいて安全な水の供給や給水施設の設置のために役立てられます。

当財団が2000年より学校建設の支援を行ってきたカンボジアとミャンマーの一部地域では、池や河川の不衛生な水や、人体に悪影響を及ぼす恐れのある物質を含んだ地下水が生活用水として使われている地域がありました。さらに、遠隔地への水汲みに時間をとられ、学校の授業に出席できない子どもたちもいるという状況を受け、こうした子どもたちを健康・教育の両面でサポートするため、2010年より毎年本キャンペーンを実施しています。本キャンペーンにより、これまでに49万3千人^(※)を超える人々が安全な水を使えるようになりました。

当財団はこれからも同事業を通じ、次代を担う子どもたちの健全な育成に貢献してまいります。



©unicef
生活のため、河川の水を汲む子どもたち



©unicef
給水施設の衛生的な水で手洗いをする子どもたち

(※) カンボジア、ミャンマー、および2015年まで支援を行ったラオスの3か国合計、2016年度末時点の総受益者数です。

【贈呈の概要】

1. 贈呈先：公益財団法人日本ユニセフ協会

2. 贈呈額：2,666万9,186円

※同贈呈額は（公財）日本ユニセフ協会を通じて、ミャンマー・カンボジア2カ国での支援に活用されます。

（内訳）①お客さまからの募金 1,287万9,673円

②公益財団法人イオンワンパーセントクラブ拠出金 1,287万9,673円

③「トップパリュ ナチュラルミネラルウォーター」（500ml）を通じた寄付 90万9,840円

3. 贈呈式

[駐日ミャンマー連邦共和国大使館]

日時：12月8日（金）10：00～10：30

場所：駐日ミャンマー連邦共和国大使館（東京都品川区北品川4丁目8-26）

主な出席者：

駐日ミャンマー連邦共和国大使館

特命全権大使 トウレイン・タン・ズィン閣下

公益財団法人日本ユニセフ協会

事務局長 遠藤 剛 様

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

理事長 横尾 博

[在日本国カンボジア王国大使館]

日時：12月8日（金）15：00～15：30

場所：在日本国カンボジア王国大使館（東京都港区赤坂8丁目6-9）

主な出席者：

在日本国カンボジア王国大使館

特命全権大使 チア・キムター閣下

公益財団法人日本ユニセフ協会

専務理事 早水 研 様

公益財団法人日本ユニセフ協会

事務局長 遠藤 剛 様

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

理事長 横尾 博

公式アカウント

イオン1%クラブの活動をリアルタイムで紹介。



↑上のQRコードから友達追加

Q 1_percent_club で検索

Q 「AEON 1%」で検索

【ご参考】 公益財団法人イオンワンパーセントクラブの主な活動内容

◆次代を担う青少年の健全な育成に資する事業

<イオン チアーズクラブ>

地域の小中学生の環境保全活動を支援。毎年夏に全国大会を開催。

<中学生環境作文コンクール>

環境問題に関する作文を募集し、優秀な作文提出者は生物多様性研修に参加。

<AEON eco-1グランプリ>

全国の高校 及び高校生のエコ活動を顕彰し、エコ活動の輪の広がりを支援。

<学校建設支援>

アジア5カ国で子どもたちの教育環境の整備を支援。全国で実施した募金にほぼ同額を上乗せし、小学校校舎建設と附属設備の設置及び教員養成を支援。

<セーフウォーターキャンペーン>

学校建設を支援した地域で汚濁水を生活用水に使っている地域に、浄化した給水施設を設置することで子どもたちを健康面と教育面から支援。

【学校建設支援】



ネパール新校舎



ミャンマー新校舎



新校舎に喜ぶ子どもたち

◆諸外国との友好親善の促進に資する事業

<ティーンエイジ・アンバサダー>

海外と日本の高校生の相互交流活動。表敬活動、交流活動、歴史文化理解活動を通じ互いへの理解とグローバルな視野を持つことを支援。

<アジア ユースリーダーズ>

アジアの高校生・大学生が一堂に会し、開催地の社会問題への解決策を議論し政府へ提案することを通じ、各国の多様な価値観への理解を深めることを支援。

<イオン スカラシップ>

アジア各国で学ぶ大学生へ奨学金を給付し、次代を担う青年たちの夢の実現を支援。

【ティーンエイジ・アンバサダー】



首相官邸訪問



中国での授業体験



ミャンマーで托鉢体験

◆地域社会の持続的発展に資する事業

<ふるさと未来支援>

日本各地に伝わる固有の伝統的な文化・工芸・芸能の継承と普及を支援。

<災害復興支援>

大規模自然災害に見舞われた地域の人々を支援。

<公益法人への支援>

当財団の設立主旨に副う活動を行う公益法人を支援。

【ふるさと未来支援】



よさこい祭り



イオン ふるさと発信伝



イオン すくすくラボ

* 活動の詳細い内容はこちら (<https://www.aeon.info/1p/>) をご覧ください。